

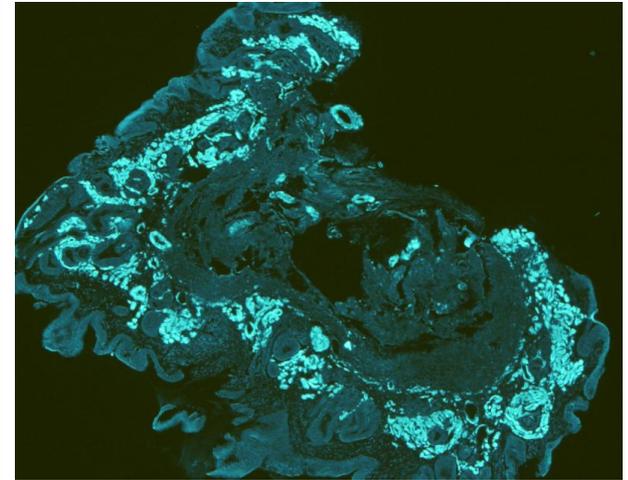
アミロイドーシス特有の病理像を認識するプローブの開発 (6)

東北大学未来医工学治療開発センター 工藤幸司 他18名

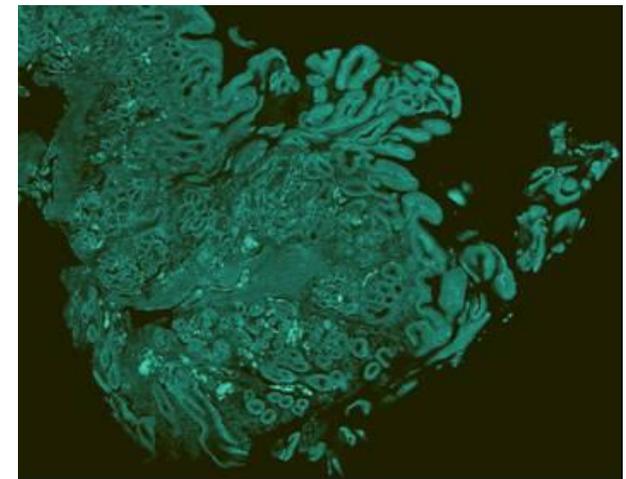
目的：アミロイド特有の構造を認識するBF-227の染色の程度からアミロイドーシス治療薬トシリズマブの有用性を検証する。

方法：AAアミロイドーシス患者の幽門輪粘膜下層標本をBF-227で染色した。

結果：BF-227染色の結果、トシリズマブ治療前に比較して、特に治療1年後に染色スコアの低下が認められた。



トシリズマブ治療前 幽門輪 BF-227染色



トシリズマブ治療1年後 幽門輪 BF-227染色

